

# 令和8事業年度「施設園芸セーフティネット構築事業」加入募集のご案内

## 省エネ化とセーフティネットで 燃料価格高騰に備えましょう

- ✓ 国と農業者で積立てを行い、燃料価格高騰時に補填金をお支払いします  
(自身の積立金の2倍を限度に補填)
- ✓ 補填に使用されなかった皆様の積立金は、事業終了後に還付されます  
(掛け捨てではありません)

申込期限 **令和8年7月3日(金)**

基準単価、積立コース

までに最寄りの県農林事務所に提出願います。  
※国HP記載の申請期限(令和8年7月31日(金))は  
取りまとめた計画を県が国に提出する期限です。  
継続参加団体の方については別途、計画策定が完了次第、県農林事務所へ提出願います。

A重油：100.2円/L LPガス：131.1円/kg  
灯油：106.2円/L LNG：80.5円/m<sup>3</sup>

補填積立金

対象期間

積立金 = 積立単価 × 年間燃料購入予定数量 × 1/2  
(例) A重油を年間10,000L購入予定の方が  
130%コースに申し込む場合  
30.1 × 10,000 × 1/2 = 150,500円

10月から翌6月までの間から選択

対象燃料

施設園芸(野菜、果樹、花きの栽培)の用  
に供するA重油、灯油、LPガス、LNG

積立 コース	積立単価			
	A重油	灯油	LP ガス	LNG
115% コース	15.0 円/L	15.9 円/L	19.7 円/kg	12.1 円/m <sup>3</sup>
130% コース	30.1 円/L	31.9 円/L	39.3 円/kg	24.2 円/m <sup>3</sup>
150% コース	50.1 円/L	53.1 円/L	65.6 円/kg	40.3 円/m <sup>3</sup>
170% コース	70.1 円/L	74.3 円/L	91.8 円/kg	56.4 円/m <sup>3</sup>

加入要件

- 施設園芸農家3戸以上※又は農業従事者5名以上  
で構成する農業者団体等

※同一県内の3戸以上の農家

- 3年間で燃料使用量を15%以上削減する計画  
(省エネルギー等推進計画)の作成

- 目標の立て方は、裏面をご覧ください。

**補填金 = 補填単価 × 1 × 当月燃料購入数量 × 70% × 2**

補填単価は、積立コースにかかわらず、同額です。

※1 補填単価 = 各月の指標価格 - 発動基準価格

※2 価格急騰時等には、100%に引き上げられます。

省エネ機器を導入し燃料使用量を50%以上削減する場合にも100%に引き上げられます。  
(詳細は裏面下部をご確認ください)

【お問い合わせ先】 詳しくは茨城県農業再生協議会事務局(以下の連絡先)までお問い合わせください

県庁農林水産部 産地振興課 : TEL 029-301-3954

鹿行農林事務所 農業振興課 : TEL 0291-33-4117

県北農林事務所 農業振興課 : TEL 0294-80-3303

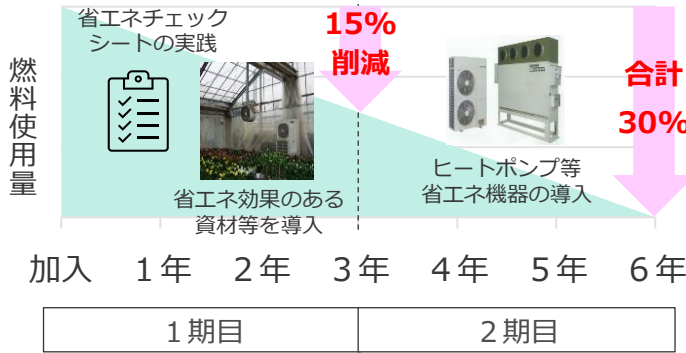
県南農林事務所 農業振興課 : TEL 029-822-7086

県央農業事務所 農業振興課 : TEL 029-221-3034

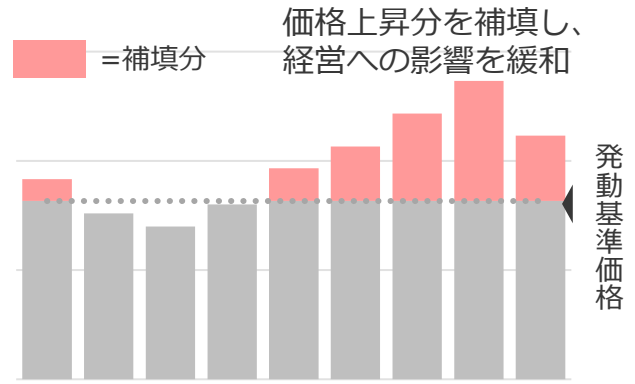
県西農林事務所 農業振興課 : TEL 0296-24-9169

# 施設園芸セーフティネット構築事業加入に向けたヒント

## 省エネ計画のイメージ



## セーフティネットの仕組み



## 申請手続

申請には、下記の書類が必要です。

### 支援対象者（加入希望団体）が県に提出する書類

- 別紙管理シート（茨城県農業再生協議会様式）
- 事業実施計画書（業務方法書様式1、5、7号）
- 省エネルギー等対策推進計画（業務方法書様式2号）
- 過去7年分の燃油使用量を確認できる書類
  - ※7年分の書類がない場合でも加入可能な場合もありますので、ご相談ください。
- R8チェックリスト（省エネルギー推進計画・セーフティネット事業）
- クロスコンプライアンスチェックシート

### <初めて加入する方>

- 省エネチェックシートの実践で燃料使用量**10%減**とみなせます。チェックシート以外で**5%減**を目指しましょう。



▲省エネチェックシート



▲省エネマニュアル



▲省エネ通知のページQRコード



▲省エネで収益力向上を

✓ **省エネ機器（化石燃料を使用しない加温機）の導入と被覆等の取組を組み合わせ燃料使用量50%以上の削減に取り組む場合、補填数量を70%から**100%**に引き上げます。**

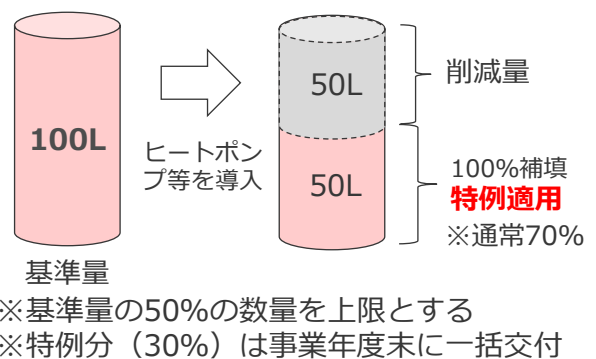
## 実施期間 令和9事業年度まで

- ※一人一期（最大3年間）までです。
- ※申込期限は令和8事業年度までです。**令和8事業年度に申し込んだ場合、特例措置の期間は2年間**です。

## 加入要件

- 特例適用の事業初年度に**省エネ機器を導入**する者又は**既に省エネ機器を導入**している者
- 3年間**で燃料使用量を**50%以上削減**する計画（省エネルギー等取組計画）の作成

## 省エネ加速化特例の仕組み



## 省エネや生産性向上の取組に活用可能な補助事業

- 産地生産基盤パワーアップ事業 施設園芸エネルギー転換枠等

検索

# 更なる省エネ化で 燃料価格高騰に備えましょう

- ✓ 省エネ機器の導入と被覆等の取組を組み合わせ燃料使用量50%以上の削減に取り組む場合、補填数量を70%から100%に引き上げます。

申込期限 **令和8年7月3日（金）**

実施期間 **令和9事業年度まで**

までに最寄りの県農林事務所に施設園芸セーフティネット構築事業の加入と併せて申請してください。  
※国HP記載の申請期限(令和8年7月31日(金))は取りまとめた計画を県が国に提出する期限です。  
継続参加団体の方については別途、計画策定が完了次第、県農林事務所へ提出願います。

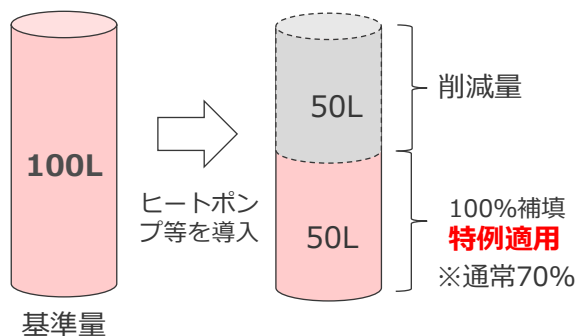
※事業参加者ごとの取組計画に即して申請し、一人一期（最大3年間）までです。  
※申込期限は令和8事業年度までです。  
なお、**令和8事業年度に申し込んだ場合、特例措置の期間は2年間**となります。

## 加入要件

- 特例適用の事業初年度に**省エネ機器を導入**する者又は**既に省エネ機器を導入**している者
- 3年間**で燃料使用量を**50%以上削減**する計画（省エネルギー等取組計画）の作成

SN加入状況	R7事業年度加入者				R7事業年度未加入者	
	導入していない		導入済み		導入していない	導入済み
省エネ機器導入状況	導入していない		導入済み		導入していない	導入済み
現行計画の削減率	50%未満	50%以上	50%未満	50%以上	—	—
特例対象	○	×	○	×	○	○

## 省エネ加速化特例の仕組み



**省エネ加速化特例補填金 = 補填単価 × 当月燃料購入数量の100%**  
※補填単価 = 各月の指標価格 - 発動基準価格  
※基準量の50%の数量を上限とする  
※特例分（30%）は事業年度末に一括交付

【お問い合わせ先】 詳しくは茨城県農業再生協議会事務局(以下の連絡先)までお問い合わせください

県庁農林水産部 産地振興課 : TEL 029-301-3954

鹿行農林事務所 農業振興課 : TEL 0291-33-4117

県北農林事務所 農業振興課 : TEL 0294-80-3303

県南農林事務所 農業振興課 : TEL 029-822-7086

県央農業事務所 農業振興課 : TEL 029-221-3034

県西農林事務所 農業振興課 : TEL 0296-24-9169

# 省エネ加速化特例加入の申請手続きについて

## 申請手続

- ・省エネ特例の申請には、右記の書類が必要です。
- ・地域によって必要な書類が異なる場合がありますので、**都道府県協議会**にご確認下さい。
- ・令和8事業年度施設園芸セーフティネット構築事業の加入申請をしている者に限ります。なお、積立金の契約の変更はできません。

- 省エネ加速化特例申請書  
(省エネ機器導入の確認書類含む)
- 省エネルギー等対策取組計画

## 基準量の考え方

赤字が基準量です。基準量から50%以上の燃料使用量の削減に取り組みます。

Aさん：新たに省エネ機器を導入 Bさん：既に省エネ機器導入済み (単位：L)

		R1~R3			R4~R6			R7~R9 (特例加入)			基準 数量
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
A さん	現在値	100	—	—	85	—	—	70	35		70
	目標値		85			70					
	実績値	90	80	70	70	65	60				
B さん	現在値	200	—	—	170	—	—	145			180
	目標値		170			145			90		
	実績値	190	180	110	105	100	95				

R4ヒートポンプ導入

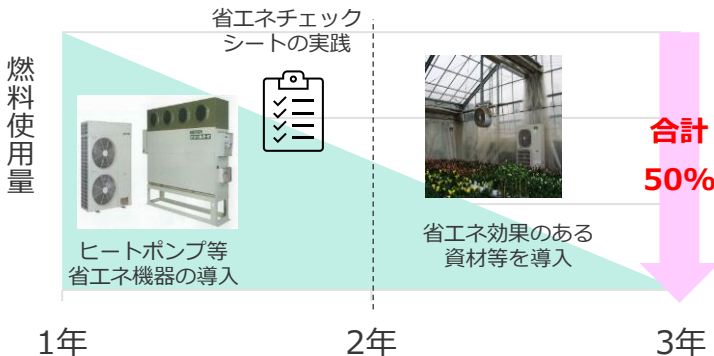
R8ヒートポンプ導入  
50%減

特例措置は  
R9事業年度  
まで

50%減

## 省エネ加速化特例加入に向けたヒント

### 省エネ計画のイメージ



▲省エネチェックシート



▲省エネ通知のページQRコード



▲省エネマニュアル



▲省エネで収益力向上を

省エネ機器の導入に加え、被覆の多層化や循環扇の導入、環境制御装置の導入など様々な手段を用いて燃料使用量50%以上削減に取り組みましょう！

### 省エネや生産性向上の取組に活用可能な補助事業

- 産地生産基盤パワーアップ事業 施設園芸エネルギー転換枠等

検索